

新入生は、入学後1年間はキャンパス内の学生寮で生活する。
共同生活は窮屈な面があるが、得るものもおおいはずだ(写真提供:国際教養大学)

秋田で日本最先端の 大学を作る

初の公立大学法人として
二〇〇四年四月に開校した国際教養大学(秋田市雄和)。
国際社会で通用する人材育成のために
考慮された教育カリキュラム、教育理念とは

グローバル・スタンダードに

則した大学を

——「タイム」の世界の大学ランキ
ングで、東京大学が日本の大学と
しては最高位の二七位。日本の大
学が国際競争力をつけるために、
いま何が必要でしょうか。

中嶋 グローバル・スタンダードに
則した大学にすることです。中で
もカリキュラム改革が最も大切に
す。

国際教養大学は、二〇〇四年
四月、「世界に通ずる大学を創り
たい」という大きな夢を掲げて誕

生しました。

本学では、九月入学を含むセメ
スター制(春秋二学期制)をとって
います。これは海外との交流や連
携、さらに優秀な学生の確保とい
う点で不可欠です。

また、すべての授業を英語で行
ない、在学中に全員提携校での一
年間の海外留学による単位取得
を義務つけています。新入生は外
国人留学生とともに一年間の寮
生活を送ります。

日本人は英語を習っているながら、
ほとんど使い物にならないのが現

中嶋嶺雄
国際教養大学学長



中嶋 嶺雄

なかじま みねお

東京外国語大学卒業、東京大学大学院社会学研究科修了。社会学博士。東京外国語大学長などを歴任し、2004年より現職。才能教育研究会会長を兼任。



状です。本学ではコミュニケーション手段として英語を徹底して身に付け、国際社会で活躍できる人材を養成します。

英語力は、文法ではなくリスニングとスピーキングを重視してい

ます。キャンパスでは英語が公用語です。教授会などの会議も学長の訓示も英語で行なっています。そういう環境に慣れさせて英語力を磨き上げるのです。卒業時にはTOEFLで最低六〇〇点はとれるようになります。その

うえに教養と専門知識を身につける。一般教養を経て、三年次から専門教育の「グローバルビジネス」または「グローバル・スタディーズ」を選択します。

学生だけでなく教員にも改革を求めています。三年の任期制、年俸制です。授業はすべてオープンで、教師は教室の独裁者たりえません。自己評価、学生評価、同僚評価等を行ない、評価が低ければ年俸も下がり、任期も更新されない仕組みです。

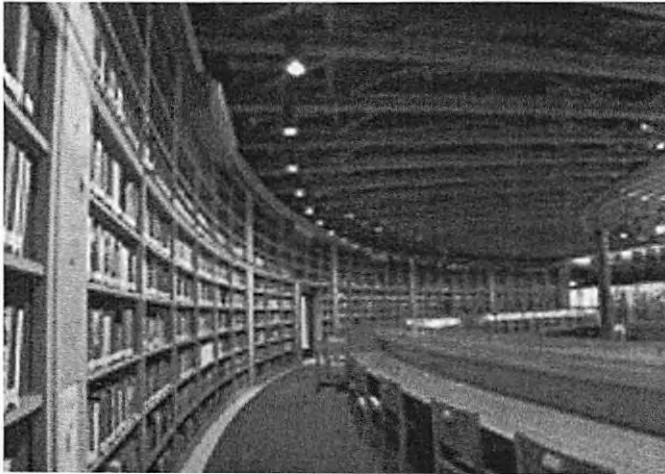
また、日本の大学に多い「教授会自治」を改め、機動的な運営ができるよう、経営権を理事会（大学経営会議）に教育面を「教育研究会議」に集中させています。いわゆる教授会を行なうのは、セメスターの前後各一回だけです。

——大学設立当初、少子化の時代、秋田に学生が集まるのかという意見もありました。

中嶋 おかげさまで全国から優秀な学生がたくさん受験してくれています。大手予備校が公開するセンター試験ボーダーラインをみても、トップレベルを保っています。「朝日新聞」や「東洋経済」等では英語教育が充実した大学として評価されています。本学を志す高校生たちは、自らインターネット等で調べて選んでくれています。しっかりしたコンセプトを掲げれば認められる。これ

からは地方であることは関係ありません。

また、地元との交流も双方にいい影響を及ぼしているように感じます。留学生が秋田でボランティア活動をするなど地域貢献の



秋田杉を使った伝統工法で作られた図書館は、24時間開館している。蔵書は5万冊以上で、その8割を洋書が占める(写真提供・国際教養大学)



上・新生は全員まず英語集中プログラムで学び、4年間の学びに不可欠な学術英語を身につける(写真提供:国際教養大学)
 下・キャンパス内にも2つのアパートがある。昨年6月に完成したグローバルビレッジでは主に海外留学から帰国した3、4年生が暮らしている(写真提供:国際教養大学)

効果も大きいですし、全国から集まった多くの学生が秋田で暮して秋田の文化を知ることになります。竿灯祭りに参加する学生も多くいます。

——英語教育の大切さを認めるいつぼう、まずは日本語を大切にすべきとの異論もあります。

中嶋 決して英語ができるというだけの人材を養成しているのではありません。新渡戸稲造の「武士道」を全学必読文献に指定するなど、グローバル化に備えて語学力を身に付ける一方で、日本人としての在り方を確立させる教育も行なっています。

外国語を学ぶことは、心の中にもうひとつ宇宙を作り出すことです。東西冷戦が終わり、この二〇年間でグローバル化が急速に進展しました。であるなら、これらの社会人に必要なのはグローバルな知力です。

英語はその変化の中で国際共

通語としての地位を固めました。国民の英語力は、もはや国際関係の中で国力をはかる一つの指標です。

日本の大学ではこれまで専門性を重視する一方、知の土台となる教養を軽視してきました。真の知力は狭い専門知識ではなく、より幅広い教養にあります。いまや大学では教養と外国語の表現力を身に付け、大学院では専門知識を学ぶ時代です。外国語を学ぶことは、日本語を大切にすることと矛盾しません。欧州ではいま、外国語を学ぶことで自らの母国語がより相対化され洗練されるといふ「複言語主義(Bilinguism)」が主張されています。外国語が知的生活を充実させるという認識です。

国際社会で通用する人材育成のために

——一年間の海外留学先にはどの

香典返しの 新しいカタチ



故 桔梗政之さん
(享年86歳)

困っている人をほっておけない性格だった政之さん。生前に心を痛めていた「犯罪被害者」の支援に使ってほしいと、ご遺族が香典の一部を日本財団「夢の貯金箱」に寄付してくださいました。会葬者の方々からも「形式的なものよりも、政之さんらしい」と大いにご賛同をいただきましたそうです。



ご寄付いただいた香典は犯罪被害者やハンセン病回復者の支援など社会貢献活動に100%全額を活用しています。

相談電話:03-6229-5111

ゆめちよ

で

検索

ような大学がありますか。

中嶋 現在、提携大学が七九校あります。アジアでは、ソウル国立大学、高麗大学、南京大学、香港大学、国立台湾大学、シンガポール国立大学、チュラロンコン大学など。欧州では、エセックス大学、シエフィールド大学、モスクワ国際大学、ストックホルム大学など。北米では、カリフォルニア大学バークレー校、同デーヴィス校、ジョージワシントン大学、オレゴン大学、ワシントン大学など。オセアニアでは、オーストラリア国立大学などです。

また二〇〇八年秋には二〇カ国地域四二大学から九〇名の新規留学生が来てくれています。

——今年三月、第一期生が卒業されました。

中嶋 一期生二四二名中、卒業生は六四名でした。うち五三名が就職し、二人が進学。七八名が留学や単位未修得のため留年しました。卒業認定を国際基準で厳しくしていますから、よりよい就職のための残留はいい傾向だととらえています。

就職先をみると、日本IBM、三菱マテリアル、日興コーディアル

グループなど、OB・OGがいないながら、内定率一〇〇%で希望する企業に就職した学生が多いことは心強いです。今年(二〇〇八年度)は、さらに就職状況が良好です。

——今後の大学構想は……。

中嶋 この地を世界の大学と直接つながり、発信力をもった「大町」にしたいと考えています。

今年九月には、日本初のコミュニケーション「グローバル・コミュニケーション実践」研究科を開設しました。英語教育実践領域、日本語

教育実践領域、発信力実践領域の三コースに分かれています。いずれのコースも海外の日本語学校や企業での実践研修を実施し、コースによっては英語教員や日本語教員の資格も取得することができます。

また、大学教育に鈴木メソッドを取り入れたり、同時通訳能力を培ったりと、国際社会で通用するいい人材を育てるシステムを拡充していくつもりです。

——本日はありがとうございました。(取材・構成・文責 編集部)



特集◎

大学の国際競争力

10 秋田で日本最先端の大学を作る 中嶋嶺雄

14 教育体制の充実こそ、

世界の学生を引きつける 徳永保

18 元留学生からひとこと

— 日本の留学生政策への提言 タン・ジョンレク

23 世界に通じる大学システムの構築に向かつて 片山卓也

26 「留学生三〇万人計画」実現のために何が必要か 横田雅弘

30 「アジア人財資金構想」がめざすもの 富原早夏

32 世界を知るグローバル人材が求められている 佐藤スコット

34 資料篇 留学生30万人計画とは・留学生世界移動図

1 グラビア 個性が光る大学たち

第2特集◎ 国際協力の新しい潮流

36 成長重視の援助モデルを世界へ 木寺昌人

42 アドボカシーを通じて、世界に語りかけていく

山田太雲／寺田頼子